

動詞連続の文法的性質を捉え直す — 日韓対照を通じて —

あさおよしひこ
浅尾仁彦 (京都大学大学院)

asaokitan@ling.bun.kyoto-u.ac.jp

1 はじめに

日本語動詞連続、韓国語動詞連続はともに、文法的性質の異なる複数のタイプに分けられることが知られており、これまで、記述的な分類や、その背後にある統語構造について多くの研究がなされてきた (寺村 1969; 山本 1984; 影山 1993; 姫野 1999; 由本 2005; 金 1981; Kim 1995; Kang 1998; inter alia)。

本発表の目的は、これまでに指摘されてきた動詞連続のさまざまな性質を「形態的」「語彙的」の2つの基準から捉え直し、それらの性質が互いにどのように関連し合っているのかを明らかにすることである。

2 扱う対象

本発表の議論の対象となるのは以下の3種類の形式である¹。

(1) a. 日本語連用形動詞連続

走り去る

b. 日本語テ形動詞連続

持って行く

c. 韓国語 -e 形動詞連続²

kal-a tha-ta

替える-e 乗る

乗り換える

¹ これらの構造には従来、複合動詞 (compound verb), 補助動詞構文 (auxiliary verb construction), 連続動詞構文 (serial verb construction) をはじめさまざまな名称が与えられてきている。ここでは、理論的な位置づけにかかわらず、表面上動詞が連続しているものを全て議論の対象とするため、便宜上「動詞連続」という用語をカバータームとして用いることにする。

² -e (発音は [ɔ]) は韓国語で動詞の接続形を作る語尾のひとつである。(1c) の例に見るように、直前の母音が a ないし o の場合は異形態 -a で現れる。そのほか縮約が生じる場合や、不規則変化動詞もある。グロスでは -e で統一する。なお、-ta は動詞の基本形 (辞書形) の語尾であり、グロスでは省略している。

なお、韓国語には他にも語幹に直接連続するタイプの動詞連続や、-ko という別の接続形式を用いた動詞連続などがあるが、本発表では扱わない。

日本語で一般的に複合動詞と呼ばれるのが (1a) のような連用形動詞連続である。このタイプに関しては、語彙的複合動詞と統語的複合動詞に二分する分析がよく知られている (影山 1993)。ここでは用語の統一の都合のため、通常の「統語的複合動詞」という用語を使わず、後項が補助動詞的に働いているという点を捉えて仮に「補助的」と呼ぶことにする。

(2) a. **語彙的連用形動詞連続**

切り倒す

b. **補助的連用形動詞連続**

切り始める

両者のあいだには文法上の違いがある。例えば代用形「そうする」で (2a) の前項を置き換えることはできないが、(2b) では可能である。

(3) a.*そうし倒す

b. そうし始める

テ形動詞連続にも (2a) に対応するような語彙的な例 (4a)³、また (2b) に対応する、後項が補助的になった例 (4b) がある。また、テ形動詞連続の場合、さらにそれぞれの動詞の独立性が高い (4c) のような例がある。

(4) a. **語彙的テ形動詞連続**

買って出る

b. **補助的テ形動詞連続**

買っておく

c. **統語的テ形動詞連続**

買って帰る

テ形動詞連続に関しても、「そうする」による置き換えテストによって文法的性質が分かれることがわかる。

(5) a. #そうして出る

b. そうしておく

c. そうして帰る

韓国語 -e 形動詞連続にも、同様に文法的性質の多様性がある。これまで、少なくとも次のような3つのタイプが認められている (Kang 1998: 14, *inter alia*)。これは (4) で示したテ形動詞連続の3つのタイプに対応するものとみることができる。

³ (4a) の「買って出る」のような語彙的テ形動詞連続はそれほど多くないが、他に次のような例がある：「受けて立つ」「打って出る」「食ってかかる」「ついて回る」「取って代わる」「見て取る」「やってくる」。姫野 (1999: 8) 参照。

(6) a. 語彙的

kwuw-e salm-ta

焼く-e ゆでる

丸め込む

b. 補助的

kwuw-e po-ta

焼く-e 見る

焼いてみる

c. 統語的

kwuw-e mek-ta

焼く-e 食べる

焼いて食べる

日本語と同様、代用形 *kulehkey ha-ta* 「そうする」を用いてテストを行うと、(6a) のみが前項の代用形への置換を許さないことが分かる。

(7) a. #*kulehkey hay salm-ta*

b. *kulehkey hay po-ta*

c. *kulehkey hay mek-ta*

これらの動詞連続には、本節で見た代用形への置き換えの可否に加えて、とりたて詞の挿入、尊敬語化、空所化 (gapping)、後項の反復、否定辞の位置、否定極性表現の認可、などさまざまな現象に関して容認性の差を見せることが論じられてきている。

従来の研究は、個々の動詞連続をどのように分類すべきかということを論じた研究か、または、背後にある構造を与えようとする生成文法的研究が多い。本発表の目的は、動詞連続のさまざまな性質が互いに何故どのように関連するかについて基本的な考察を加え、動詞連続のふるまいを俯瞰するための一助となることを意図している。

3 分析の枠組み

語 (word) は音韻面から統語面に至るまで多様な定義が可能な概念であり (Dixon & Aikhenvald 2002), 動詞連続のように語と句の境界線上に位置するような現象を扱う場合, それらの相異なる基準を混同せず正確に区別することが重要になってくる。ここでは動詞連続について「形態性」「語彙性」という2種類の基準を区別することで, 動詞連続が分類できることを示す。

3.1 形態的/迂言的

形態的 (morphological) とは, ある表現が形のうえで分離できず, ひとまとまりの単位として発音されることを指す。日本語では, アクセントがひとつにまとまること, あいだに間投助詞などの挿入を許さないことなどが, 形態的まとまりをもつことの基準として利用できる。形態的でないものは迂言的 (periphrastic) と呼ぶことにする⁴。

3.2 語彙的/生産的

語彙的 (lexical) とは, 話し手がその表現を全体として記憶しているという意味である。それに対し生産的 (productive) とは, 話し手が全体を記憶しているのではなく, 解釈にあたって部分の意味から全体の意味を計算しているような表現を指している。生産的であるためには意味が構成的である必要があるが, 意味が構成的に解釈できるからといって生産的であるとは限らない。

3.3 動詞連続への適用

「形態的」「語彙的」という二つの基準の関係は, 表1のようにまとめることができる。「形態的」な単位と「語彙的」な単位はある程度一致するが, 食い違うこともしばしばある。

表1

	語彙的	生産的
形態的	典型的な語	生産的複合語など
迂言的	イディオムなど	典型的な句

本発表では, この分類を日本語と韓国語の動詞連続に適用すると, 次の表2,3のようになると考える。

次節以降では, 具体的にこれが動詞連続の文法的なふるまいをどう記述しているかを見ていくことにする。

4 文法的性質との関係

文法的性質には, その表現が「形態的かどうか」にかかわっている性質と, 「語彙的かどうか」にかかわっている性質があると考え (さらに, 表現の意味内容に関係するものがある)。

⁴ 実際には, アクセントによる音韻的基準と, 形態素の挿入の可否などに基づいた基準などが常に一致するとはいえないが, 本発表の議論の範囲内では大きな問題にならないものとする。

表 2

	語彙的	生産的
形態的	見つめる (語彙的連用形動詞連続)	見過ぎる (補助的連用形動詞連続)
迂言的	見て取る (語彙的テ形動詞連続)	見てもらう (補助的テ形動詞連続) 見て選ぶ (統語的テ形動詞連続)

表 3

	語彙的	生産的
形態的	—	—
迂言的	nal-a ka-ta 飛ぶ-e 行く 「(財産などが) 吹っ飛ぶ」 (語彙的動詞連続)	phal-a peli-ta 売る-e 捨てる 「売ってしまう」 (補助的動詞連続) ssis-e mek-ta 洗う-e 食べる 「洗って食べる」 (統語的動詞連続)

4.1 「形態的／迂言的」とかかわる性質

「形態的」とは表現が形のうえで分離できず、ひとまとまりの単位として発音されることを指す。したがって定義から「形態的」であるときは次のような性質をもつことになる。

- 表現のあいだにとりたて詞などを挿入できない。
- 表現の一部だけを反復することができない。

4.1.1 とりたて詞の挿入

動詞連続は、あいだにとりたて詞(「は」「も」「さえ」、nun (は) to (も) man (だけ) lul (強調) cocha (さえ) など)を挿入できる場合がある。連用形動詞連続は形態的なので、語彙的・補助的の区別にかかわらず、とりたて詞の挿入は許さない。

- (8) a.*買いは集めたけど… (語彙的連用形)
b.*買いは始めたけど… (補助的連用形)

一方、テ形は、語彙的・補助的・統語的の区別にかかわらず、とりたて詞を挿入できる。

- (9) a. 委員長を買って は 出たけど… (語彙的テ形)
 b. 申し込んで は みたけど… (補助的テ形)
 c. 焼いて は 食べたけど (生では食べてない) (統語的テ形)

韓国語 -e 形動詞連続についても、テ形と同様である⁵。

- (10) a. Chelswu-uy cenghon-ul pat-a-man tuli-ntamyen (語彙的)
 チョルス-GEN 求婚-ACC 受ける-e-だけ 入れる-仮定

(金 1981: 54)

チョルスの求婚を受け入れさえすれば

- b. ku-ka na taysin ka-nun cwu-keyss-ciman pwuthak-ha-ki-ka elyep-ta. (補助的)
 彼-NOM 私 代わりに 行く (-e)-TOP くれる-推量-けど 依頼-する-名詞化-NOM 難しい

(Kang 1998: 92)

彼が代わりに行ってはくれるかもしれないけど、頼みづらい。

- c. kwuw-e-nun mek-ess-ciman nal-lo-nun an mek-ess-ta. (統語的)
 焼く-e-TOP 食べる-過去-けど なま-手段-TOP 否定 食べる-過去
 焼いては食べたけど生では食べてない。

また、とりたて詞の他に、韓国語では -tul という複数接辞が動詞連続のあいだに現れうる (金 1981: 54, 千田 2006: 14)⁶。次の例では al-a po-ta (知る-見る, 「見分ける」) という語彙的な動詞連続に -tul が挿入されている。

- (11) (ai-tul-i) ne-lul al-a-tul po-ten?
 (子供-複数-NOM) 二人称単数-ACC 知る-e-複数 見る-回想過去疑問

(子供達は) あなたが誰だか分かったの? (金 1981: 53)

とりたて詞や -tul の挿入は、単に動詞連続が非構成的な場合だけでなく、cranberry 形態素が含まれている場合でも可能である (金 1981: 57, 千田 2006: 14)。例えば, thay-e na-ta 「生まれる」は、なんらかの動詞と na-ta 「出る」が接続した形をしているが、前項が単独で使われることはなく、cranberry 形態素となっている。このような場合でも、-tul のような要素は挿入可能である。

⁵ ただし金 (1981: 54) によれば、前項の -e 形が単音節のときは、韻律的な条件により、とりたて詞の挿入が不可能になるという。

⁶ 韓国語の接辞 -tul は通常は名詞に後続して複数を表すが、主語が複数するとき、主語以外のさまざまな要素にも -tul を付加することができるという plural copying と呼ばれる現象がある。

(i) ai-tul-i sensayngnim-kkey-tul yelsimhi-tul cilmwun-ul ha-ko-tul iss-ta. (Kim 1994: 303)
 子供-複数-NOM 先生-DAT-複数 一生懸命-複数 質問-ACC する-ko-複数 いる

子供達が先生に一生懸命質問をしている。

なお、plural copying による -tul は焦点標識として機能しているという議論もあり (Song 1997)、これもとりたて詞の一種と見なしうるかもしれない。

- (12) **thay-e-tul na-ss-ta.**
 (無意味)-e-複数 出る-過去
 生まれた。(複数)

4.1.2 後項の反復

日本語, 韓国語ともに, 同じ語を反復することで譲歩の意味を表す構文がある。

- (13) a. 書いたことは書いたけど
 b. **ssu-ki-nun ss-ess-ciman**
 書く-名詞化-TOP 書く-過去-けど
 書いたことは書いたけど

動詞連続の場合, 後項のみの反復が可能かどうかによって性質が分かれる。この現象も, 連用形動詞連続では容認されず, テ形動詞連続では容認される。

- (14) a. ?/* 思い出したことは出したんだけど。(語彙的連用形動詞連続)
 b. ok/? 買って出たことは出たんだけど。(語彙的テ形動詞連続)

この容認度判断は必ずしも明確でないので, 簡単なアンケートを実施した。各カテゴリごとに3文ずつ, 5人が1~5の5段階で評定した平均は表4のようになり, テ形の場合に後項のみの反復が容認されやすいことが分かる。

表4 後項のみの反復の容認度

語彙的連用形	補助的連用形	語彙的テ形	補助的テ形	統語的テ形
1.7	2.1	3.6	3.2	4.6

韓国語でも, 後項のみの反復が可能である。

- (15) a. **kal-a tha-ki-nun tha-ss-ciman..** (語彙的)
 替える-a 乗る-名詞化-TOP 乗る-過去-けど
 乗り換えたことは乗り換えたんだけど…
 b. **ilk-e po-ki-nun po-ass-ciman..** (補助的)
 読む-e みる-名詞化-TOP みる-過去-けど
 読んでみたことはみたんだけど…
 c. **sim-e kakkwu-ki-nun kakkwu-ess-ciman..** (統語的)
 植える-e 育てる-名詞化-TOP 育てる-過去-けど
 植えて育てたことは育てたけど…

cranberry 形態素を含む **thay-e na-ta** 「生まれる」でも, 後項のみの反復が可能である。

- (16) *thay-e na-ki-nun na-ss-ciman amwu-eykey-to chwukpok-ul pat-ci mos*
 (無意味)-e 出る-名詞化-TOP 出る-過去-けど 誰-DAT-も 祝福-ACC 受ける-ci 不可能
hay-ss-ta
 する-過去
 生まれたことは生まれたが誰からも祝福を受けられなかった。

以上から、日本語の連用形動詞連続は形態的であり、テ形動詞連続と、韓国語 -e 形動詞連続は迂言的な表現であるとまとめることができる⁷。

4.2 「語彙的/生産的」とかかわる性質

ある表現が語彙的というのは、構成要素の意味から全体の意味を計算しているのではなく、全体がレキシコンに登録されており、それを直接引き出しているということである。そうだとすると、語彙的な表現は次のような性質を持つであろうことが予想できる。これらの操作は構成要素の意味にアクセスすることを前提としているからである。

- 表現の一部のみを照応の先行詞としたり、表現の一部を照応詞と置き換えることができない (照応の島; Postal 1969)
- 表現の一部が否定やとりたてなどのスコープになれない

ここでは特に、代用形の使用 (内向きの照応の島) と、とりたてのスコープに注目する。

4.2.1 代用形の使用

2節で既に見たように、前項を代用形 (日本語では「そうする」、韓国語では *kuleh-key hata*) に置き換えられるかどうかは、動詞連続が生産的かどうかと対応している。

- (17) a. *そうし倒す
 b. そうし始める (3) を再掲
- (18) a. #そうして出る (語彙的)
 (「買って出る」の意味では不可)
 b. そうしておく (補助的)
 c. そうして帰る (統語的) (5) を再掲
- (19) a. # *kulehkey hay salm-ta* (語彙的)
 そう する-e 煮る
 (*kwuw-e salm-ta* (焼く-煮る, 「丸め込む」) の意味では不可)
 b. *kulehkey hay po-ta* (補助的)
 そう する-e 見る

⁷ 実際には、とりたて詞の挿入や後項の反復に関しては個々のとりたて詞ごとに、また個々の動詞ごとに容認度は異なる。意味的要因によっても容認度は左右されると考えられ、その全てを説明するのは難しい。例えば -e *pelita* 「～てしまう」はとりたて詞を挿入しにくく (金 1981: 56, Kang 1998: 80), 後項の反復もしにくいようである。日本語でも、テ形動詞連続 9 種類を用いたアンケートで、後項の反復に関して「～てしまう」が最も低い容認度を示した。

そうしてみる

c. kulehkey hay mek-ta (統語的)

そう する-e 食べる

そうして食べる

((7) を再掲)

4.2.2 とりたてのスコープ

前節で見たとおり、動詞連続が語彙的であっても、形態的でなければ、両者のあいだにはとりたて詞が挿入できる。

(20) 委員長を買って は 出たけど…

しかし、この場合、取り立て詞のスコープは前項のみではなく、前項と後項を合わせた全体となる。つまり、「買って出はしたけど」とほぼ同義となる。金 (1981: 90) は韓国語について、動詞連続内に挿入されるとりたて詞は、意味変化を伴わずに文中の他の位置から移動したものであるという分析を示している⁸。

これは沼田 (2000) などによって後方移動フォーカス (B フォーカス) と呼ばれている現象の一種と考えることができる。例えば、次のような例の場合、形の上では「も」は「腹」に付いているが、解釈としては「腹が立つ」というイディオム全体をスコープに取っている。

(21) 上司の言葉には腹 も 立ったが、それ以上に情けなかった。 (沼田 2000: 167)

4.3 まとめ

以上の議論をまとめると表 5, 6 のようになり、動詞連続の文法的性質は、動詞連続が「形態的」かどうか、また動詞連続が「語彙的」かどうか、という 2 つの基準によって整理できることがわかる。

5 日本語連用形動詞連続の特異性

テ形動詞連続や韓国語 -e 形動詞連続と異なり、連用形動詞連続には「統語的」な例 (前項と後項の動詞の独立性が高く、別々の節に属する動詞がたまたま連続したと見なされるような例) がほとんど出現しない。テ形や -e 形と同様に、連用形には「～が走り、」のような接続用法があるので、「走り去る」のような動詞連続は前項と後項の独立性が高い「統語的」表現とみなされてもよいはずであるが、実際にはそのようなことは起きない。これは何故だろうか。

⁸ 「買って出はしたけど」のように、とりたて詞を「買って出る」全体をとる位置に置こうとした場合、単純にとりたて詞を挿入することができず、「する」という動詞を補助的に用いる必要があるため避けられるという議論が可能かもしれない。(21) の言い換え「腹が立ちました」についても同じことが言える。

これに対し、例えば副詞類などは単に前置すればよく、語彙的な動詞連続のあいだに挿入するモチベーションを欠いている。こう考えると、語彙的な動詞連続のあいだに挟まれる要素がとりたて詞に限られる理由が理解できる。

後項のみの反復についても同様の議論が可能である。「買って出たことは出たが」は、「買って出たことは買って出たが」と意味的に違いがないが、前者のほうが表現が簡潔になる。従って、前節で見た「とりたて詞の挿入」「後項の反復」という 2 つの現象はどちらも、語彙的な動詞連続に生じる場合は、形のうえでの境界を利用して表現を簡潔にしたものと考えられることができる。

表5 日本語のまとめ

	語彙的連用形	補助的連用形	語彙的テ形	補助的テ形	統語的テ形
形態的か	Yes	Yes	No	No	No
とりたて詞の挿入	*	*	ok	ok	ok
後項の反復	*	*	ok	ok	ok
語彙的か	Yes	No	Yes	No	No
代用表現	*	ok	*	ok	ok
前項のみスコープ	n/a	n/a	*	ok	ok

表6 韓国語のまとめ

	語彙的	補助的	統語的
形態的か	No	No	No
とりたて詞の挿入	ok	ok	ok
後項の反復	ok	ok	ok
語彙的か	Yes	No	No
代用表現	*	ok	ok
前項のみスコープ	*	ok	ok

「～を食べて、」のようなテ形の接続用法と、「～を食べ、」のような連用形の接続用法のあいだには、後者が堅い表現で口語では用いられないということのほか、意味的にも違いがあることが知られている。言語学研究会・構文論グループ(1989)によれば、テ形はしばしば前項が後項に対する補助的な役割を担い、全体で一つの動作を表現するのに対し、連用形接続は別々の動作を並列で表現するのに用いられる傾向があるという。また、テ形で結ばれた二つの動詞はほとんどの場合主語が同一なのに対して、連用形で結ばれた二つの動詞はしばしば主語が異なるという。

- (22) うらさびしい、変化のない、駅前の風景である。お休所とかいた飲食店がある。小さい雑貨屋がある。果物屋がある。広場にはトラックがとまり、子供が二三人あそんでいる。(点と線)
(言語学研究会・構文論グループ 1989: 174)

このことは、語彙的連用形動詞連続で、主語の一致が義務的であり(松本 1998: 72)、前項が後項の手段・様態などを表すパターンが最も一般的であるのと対照的である。連用形動詞連続と、連用形の接続用法のあいだには、明確な機能の隔たりがあることがわかる。

一方、テ形や -e 形動詞連続の場合は、語彙的なものと統語的なものとの境界が曖昧で、連続的に分布している。

6 おわりに

本発表では、日本語と韓国語の対照を通じて、機能的な観点から、動詞連続のもつ文法的性質に説明を加えることを試みた。本発表で扱うことのできた現象は先行研究で指摘されてきたもののごく一部にすぎないが、動詞連続の位置づけを整理するうえで一定の見取り図を示すことができたのではないかと考える。

謝辞

研究を進めるにあたって以下の方の助言を頂きました。ありがとうございます。

- 倉橋農 (大阪大学)
- 千田俊太郎 (京都大学)
- 和田学 (山口大学)

参考文献

- Dixon, Robert M. W. & Aikhenvald, Alexandra Y. (2002). Word: typological framework. In Robert M. W. Dixon & Alexandra Y. Aikhenvald (Eds.), *Word: A Cross-Linguistic Typology*, pp. 1–41. Cambridge: Cambridge University Press.
- 言語学研究会・構文論グループ (1989). 「なかどめ — 動詞の第一なかどめのばあい —」. 『ことばの科学』, 3 巻, pp. 163–179. 東京: むぎ書房.
- 姫野昌子 (1999). 『複合動詞の構造と意味用法』. ひつじ書房.
- 影山太郎 (1993). 『文法と語形成』. ひつじ書房.
- Kang, Hyenhwa. (1998). *Kwuke-uy tongsa yenkyel kwuseng-ey tay-han yenkwu*. Seoul: Hankwuk Mwu-hwasa. (『
』 [国語の動詞連結構造についての研究]).
- 金倉燮 (1981). Hyentay kwuke-uy pokhap tongsa yenkwu. 『國語研究』, 47, 1–98. (現代國語 複合動詞研究 [現代国語の複合動詞の研究]).
- Kim, Kihyek. (1995). *Kwuke Mwu-npep Yenkwu: hyengthay thongelon*. Seoul: Pakiceng Chwulphansa. (『
: . 』 [国語文法研究: 形態・統語論]).
- Kim, Yookyung. (1994). A non-spurious account of ‘spurious’ Korean plurals. In Young-Key. Kim-Renaud (Ed.), *Theoretical Issues in Korean Linguistics*, pp. 303–323. Stanford: CSLI Publications.
- 松本曜 (1998). 「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」. 『言語研究』, 114, 37–83.
- 沼田善子 (2000). 「とりたて」. 『日本語の文法 2 時・否定と取り立て』, pp. 151–216. 東京: 岩波書店.
- Postal, Paul. (1969). Anaphoric Islands. *CLS*, Vol. 5, pp. 205–239.
- Song, Jae Jung. (1997). The so-called plural copy in Korean as a marker of distribution and focus. *Journal of Pragmatics*, 27, 203–224.
- 寺村秀夫 (1969). 「活用語尾・助動詞・補助動詞とアスペクト その一」. 『日本語・日本文化』, 1, 32–48.
- 千田俊太郎 (2006). Tane inceng kicwun-kwa uymi: tane-uy yunkwak-ul kulinun yoin. handout presented at JK16 preconference workshop. (『
: 『
』 [単語の認定基準と意味 — 単語の輪郭を描く要因]).
- 山本清隆 (1984). 「複合動詞の格支配」. 『都大論究』, 21, 32–49.
- 由本陽子 (2005). 『複合動詞・派生動詞の意味と統語』. ひつじ書房.